

# 系教調

# 男子

オオカミ様と  
子猫ちゃん

あづみ悠羽

原作:榎原まき  
イラスト原案:つきのおまめ

10

オパール  
COMICS



ああ

俺もついに  
息子が持てた

私たちのことも  
家族だと思って  
くれたら  
嬉しいわ

ねお父さん



今度はゆっくり  
時間を取って  
泊まって  
いきなさいよ

誠司<sup>せいじ</sup>さんもね  
ここを自分の  
実家だと思って  
くつろいで

はいぜひまた  
伺わせてください

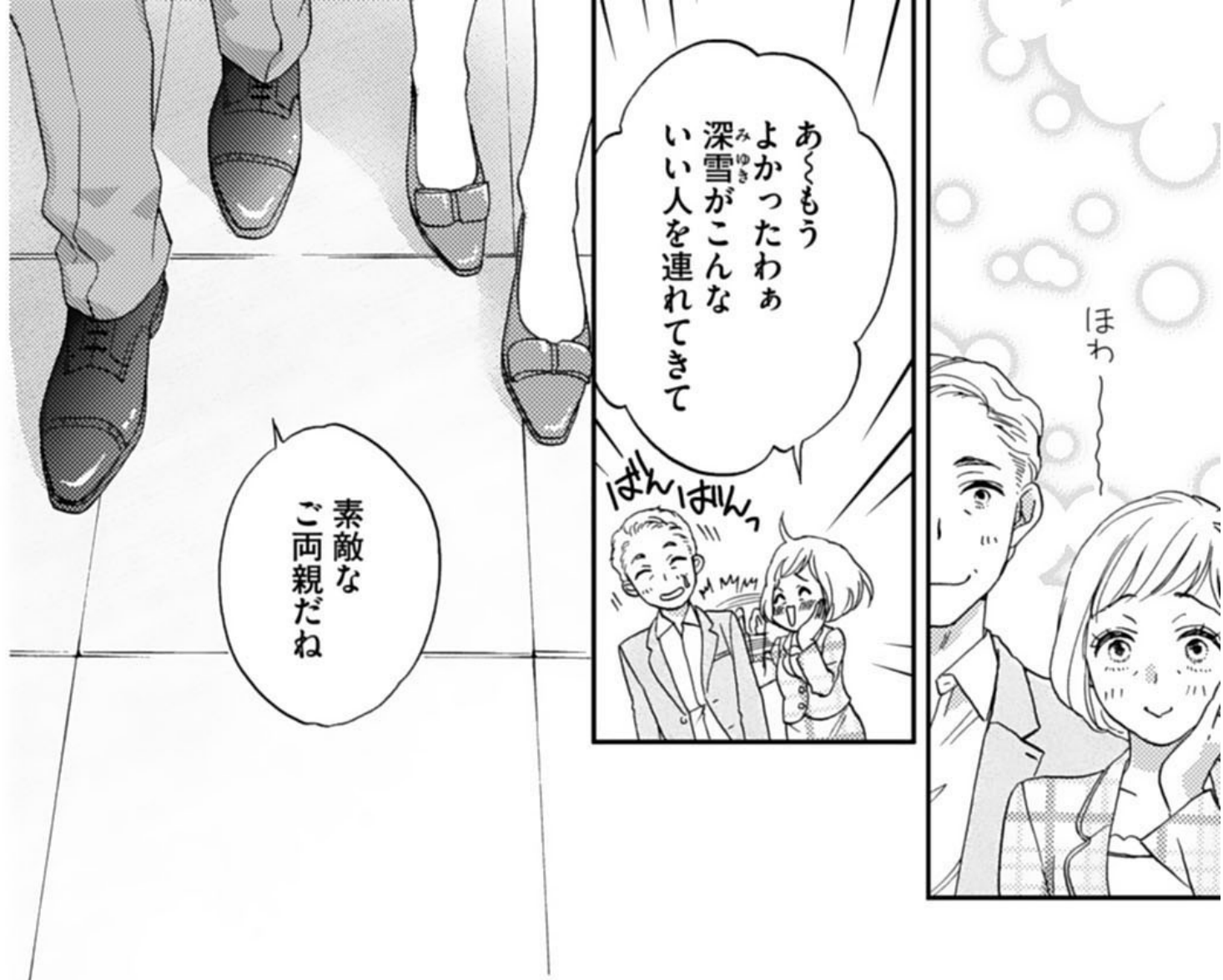


にっこ

ありがとうございます  
お義父さん

私も父と呼べる人が  
できて嬉しいです

お義母さん  
今度はお食事も  
一緒に



素敵なお両親だね

あくもうよかつたわあ  
深雪がこんないい人を連れてきて

ほんほん

ほわー



フッ



嬉しい



はい

わたしの自慢です

お父さんもお母さんも誠司さんもお互いを受け入れてくれた



いいね

9月の祝日は…  
そっか毎年  
変動するのか

固定の日に  
するなら—



祝日はどうですか？  
一日一緒に過ごせます

そうですねえ…



深雪はいつ  
入籍したい？

俺としては  
今すぐでもいいけど  
これから毎年の  
記念日になる  
わけだからね



—少し先ですけど  
いい夫婦の日は？

次の日は必ず  
勤労感謝の日で  
休みになります

ああ11月22日で  
いい夫婦なんだね

今年はちやうど  
三連休だから  
式場もそこで  
探してみようか



小規模な式なら  
今からでも予約  
取れるかもしれない

そうしましょう！

うん

引っ越しだけ  
先にしようか



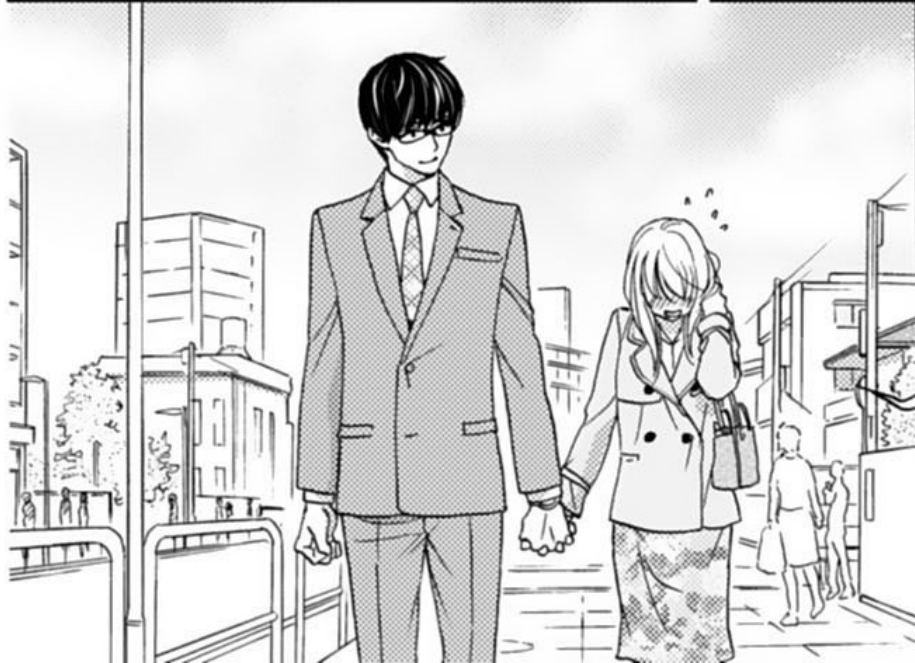
俺  
深雪との子供が  
早く欲しい



実は物件の目星は  
ついているんだ  
会社もスーパーも近いし  
家族が増えても  
大丈夫な間取りだよ



だからまた  
中に出してあげる



わ  
わたしも…  
誠司さんとの  
赤ちゃん…  
欲しいです…

近い未来

この手を子供と繋いで  
歩くのかもしれない



子供はできるだけ  
多い方がいいな

家族は  
たくさん欲しい

にぎやかなのも  
きつと楽しい  
だろうなあ

そうですね

毎日絶対  
楽しいですよ

孤独な彼が  
幸せに楽しく  
笑い合える家庭を  
築きたい…

あっ  
電車行っちゃった

5分後のに乗らないと  
もう新幹線に  
間に合わない—

深雪！





慎くん!

アッ



誠司さんこの人は  
後藤慎平くんです  
わたしの実家の  
お隣さんで小さい頃  
よく遊んでもらったの



えっと  
そっちの人は?

ああうん

慎くんも  
里帰り?

はい

お知り合い?





いえお気に  
なさらずに

ゆつくりご挨拶させて  
いただきたいところ  
なのですが…

申し訳ない  
電車の時間が…

ああ！  
悪いな引き留めて

ううん  
またね！  
おばさんに  
よろしく！

ごめんね慎くん

次のに乗らないと  
新幹線に  
間に合わないの！

深雪  
ちよっと急ごうか

はい

— 深雪 !!



うーん  
お母さん同士が  
仲良しなんですよね

慎くんは四つ年上だし  
遊んだのも本当に  
小学校低学年までで…

ふうん

あとはわたし  
中学受験して  
私立の中学校に  
行かせて  
もらったんですけど

その受験の時に  
勉強を見てもらった  
くらいですね

今は一年に一回  
顔を合わせる  
程度…かな？

そうなんだ

そうだ

新居候補の  
間取りを見て  
くれないか？

このサイトに  
出ているから



実はこの部屋  
俺の持ち物件  
なんだ



でも：  
お家賃高く  
ないですか？



はい  
わく広いし  
素敵！

いいですね



誠司さんの？

投資の為に買って  
今まで賃貸に  
出しているね

ローンは完済してるし  
ちようど先月から  
空き部屋に  
なっているから



いいんですか？  
わたしたちが  
住んでしまつて

損ませよう

うん



深雪がここで良ければ  
新規の入居者の  
募集はやめるよ

不動産投資…!!

どう？



これの前にも  
マンションに投資して  
利益を上げているんだ

ゆとりはそれなりに  
あるから深雪は  
心配しなくて大丈夫



じゃあ今度  
会社帰りに  
見に行こうか

あとね 式場  
なんだけど――



すごい  
はい

それならわたし  
ここ見てみたいです



投資とか  
してたんだ



プロポーズされて

親への挨拶も終わって  
友達にも祝福されて

わたし…誠司さんの  
奥さんになれるんだなあ…



んー？



お疲れ様  
深雪

お疲れ様です  
誠司さん

やっぱり日帰りは  
少し疲れますね



今日のセックスは  
やめとく？



深雪は  
疲れたのかい？

姿見に…

じゃあ



どうする？

そく…



…抱いてください…

誠司さん…



カチャ

あ

あの…

自分で…



そ…そんな意味じゃないと思います…っ



すわ…

たっぷり可愛がってあげるよ

深雪のご両親からも頼まれたしね

「可愛がってやってください」って

13/13



こら  
駄目じゃないか  
深雪の身体は俺のものなんだから  
…ね? どうしたらいいかわかるね?



深雪は本当にいい子だね

恥ずかしい…

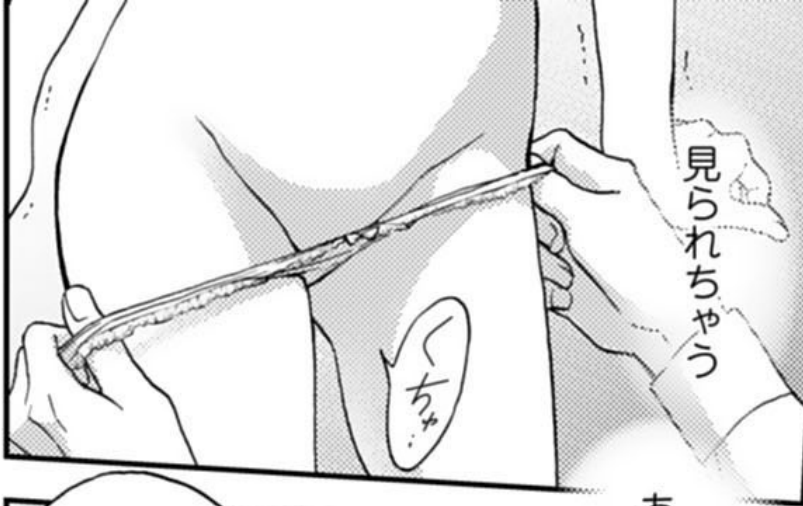


姿見で…全部  
見えちゃう…



いつもこんな  
いやらしい顔を  
してるの…？





見られちゃう



でも…だって…



あそこを…

くすっ  
おやおやこんな  
びしょ濡れに  
なっていたのか？

大人しい顔をして  
深雪は本当に  
いやらしい身体だね



ご…ごめん  
なさい…



あん

ぬるっ

ビュッ



謝ることじゃないよ

深雪の身体を  
俺が作りかえただけ

俺専用だね—

—そうだろ？

深雪は  
俺だけのもの

一生ね

俺の可愛い  
奥さん

奥さん…

はい…



今日はどんな風に抱いて  
もらえるんだろう…？

…今日

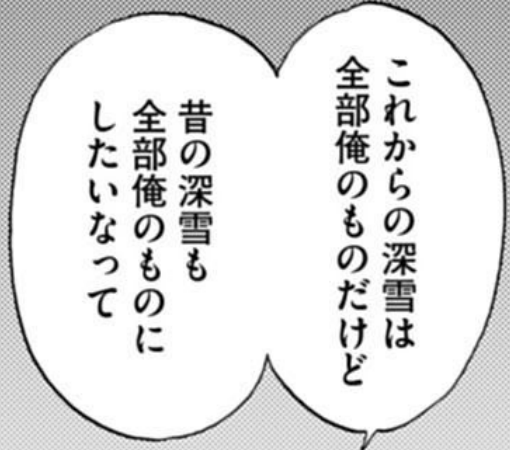
深雪の実家に  
行って…  
思ったんだ



深雪のこと  
全部知りたい

独占したい

…重いかな？



これからの深雪は  
全部俺のものだけど

昔の深雪も  
全部俺のものに  
したいなって



ううん  
嬉しい

そういえば  
わたしの過去って  
語った事ってほとんど  
なかったかも



平凡すぎて  
特別な事は  
何もないけれど…

じゃあ  
聞いていい？

ギシ



深雪は中学から  
女子校に  
行ってたんだね  
どうして？

そういう話で  
いいんだ？



それで後藤くんにもらっていたの？  
勉強を見て



そっか  
嫌な思いをしたんだね  
可哀想に

ほで



えと…  
わたし小学生の頃から胸がおつきくなっちゃって…  
その…男子の視線が胸に…  
プール授業とか特に…  
自意識過剰なんですけど…  
…それで共学の中学に行きたくなくて…



THE WALL STREET JOURNAL

わたしが男性嫌いに  
ならず済んだのは  
慎くんのお陰かも  
しれない



それにわたしの身体を  
じろじろ見たり  
しなかったから  
安心できた



はい  
わたしの塾が  
休みの時に  
わからないところを

中学生の頃の慎くんは  
勉強も運動も得意で  
優しく頼れる  
お兄ちゃんだったっけ

なるほどね





今は  
この身体ごと  
彼に愛されてる

子供の頃は  
この身体があまり  
好きじゃなかったけど

…あ

だから  
嬉しい…



んっ…



んっ

んっ…



本当かなあ？

へえ？

誠司さんのことが  
…好きなんです…

んっ

だっ

だって…んっ

ぬっ

ぬっ

くっ  
くっ



深雪はいつも  
俺を待ってるね

こんなに  
濡らして

ひくっ



もしかして  
後藤くんが深雪の  
初恋の相手だったり  
するのかな？

ねえ深雪

ひくっ  
ふあ

ふ

ほ  
本当に……ンッ

はは



えっ？

**To be continued...**



# 調教系男子 オオカミ様と子猫ちゃん<sup>⑩</sup>

著者 あづみ悠羽

©2019 Yuu Adumi

発行 プランタン出版

発売 フランス書院

---

※本作品の内容はすべてフィクションです。  
※本書の無断複写・複製・転載・配信は、著作権法上での  
例外を除き禁じられています。